

令和4年度第1回 学校運営協議会、
同学校関係者評価委員会、同校内コンプライアンス委員会記録

1 日時 令和4年6月27日(月) 午前9時30分から11時30分まで

2 場所 沼津視覚特別支援学校 会議室

3 出席者

(1) 外部委員

第五地区西連合会 副会長

東部社会教育振興協議会

和太鼓奏者・本校卒業生

特定非営利活動法人ティンクル沼津 欠席

本校PTA 2人

(4) 学校職員

校長、副校長、事務長、小学部主事



<会議の様子>



<校内参観の様子>

4 日程

校長あいさつ

校内参観

令和4年度学校経営方針について

地域との連携・花壇作成について

不祥事根絶に向けた本年度の取組について

学校への期待、要望等

5 会議報告

学校経営方針について

<御意見>

自立する人を育てるために、自分たちが権利の主体者であると知ることが重要。権利意識向上に向けた取組をして欲しい。情報保障の重要性を認識し、取り組んでいるとのこと。情報保障により排除や差別がどんな物か学び、人権意識を育てて欲しい。

地域との連携・花壇作成について

子どもたちと地域の方がコミュニケーションを持つことで、子どもたちが地域の一員であることを意識することや、地域の方が学校を身近に感じて頂き、地域と連携を深めることを目的に、地域と協働して花壇作成を行いたいと考えている。県造園緑化協会の「緑の保全事業」も活用しながら進めていきたい。

<御意見>

- ・第五地区には地域学校協働本部という組織がある。学校から計画案が示されれば、地域の住民に声を掛けて協力できる。
- ・全盲の子には香りが、弱視の子にはきれいな花があるよい。
- ・雑草を抜く作業にも子どもたちが関わるとよい。
- ・SDGsの観点からも、給食の残飯を堆肥化できるとよい。
- ・本校の子どもたちは香りに敏感。是非取り組んで欲しい。
- ・写真を撮りたくなるような花壇にできるとよい。
- ・花壇を軸に他校と協力できるよい。

不祥事根絶に向けた本年度の取組について

本校独自の教職員心得チェックの結果について、AB合わせて80%以上が32項目中30項目と大部分を占めた。一方、「同僚に関すること」の「21 同僚の気になることは声を掛けている」と、「交通安全に関すること」の「25 いつも時間と心に余裕をもって運転している」が80%に達していない。

<御意見>

- ・風通しの良い職場実現を目指して欲しい。
- ・「声掛け」については、「孤立させない」というニュアンスを含んだ表現にしたらどうか
- ・先生方のメンタルヘルスにも留意して欲しい。

学校への期待、要望等

- ・5/17に実施したマンホールトイレ設置訓練の時、住民の中にはそれがあることを知らない者もいた。組立てが難しかったが、先生方のリードがよく、完成した時はうれしかった。また先生方との交流もうれしい。このような機会があることはありがたい。
- ・職員心得は先生方の意識の高さを実感できた
- ・子どもたち一人一人への配慮、必要に応じて点字を獲得しているのが素晴らしい。一方でこの恵まれた環境がずっと続くわけではないので、生き抜く力、心のエネルギーを蓄えて行ってほしい。
- ・様々な学年の子どもたちの風景を知ることができて良かった
- ・花壇を通して地域とのつながりができたらありがたい。